

在日大韓基督教会
宣教90年을 향한 目標

1. 自立된 100教会의 設立
2. 主님의 일꾼의 養成
3. 작은 이웃들과 함께 사는 宣教
4. 在日同胞의 삶에 同參하는 奉仕



THE GOSPEL NEWS

3月1日(日) <1998年> 第557号

発行所 福音新聞社

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18

電話 03 (3202) 5398 番

発行人 慶恵重・編集人 姜栄一

毎月1回1日発行 購読料1部100円

昭和38年9月20日 第3種郵便物認可

印刷所・青丘文化社

Tel.0474-24-7461 Fax.0474-24-7496

90周年第2回実行委開かる

標語「立ってイエス・キリストの光を放とう」に決定

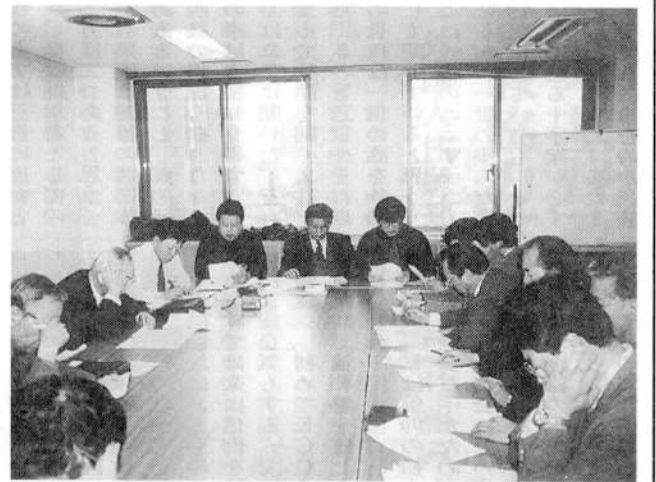


西部地方서 連合研修会

有木義岳牧師講師로 盛大히

宣教九十周年을 맞이하는 뜻깊은 해에, 西部地方에서는 教会成長을 위한 連合研修會를 지난 二月十日부터 十一日(神戶)あわせの村에서 有木義岳牧師(関西ルーテルアワーラジオ伝道)를講師로 約六十名이 모여 盛大히 가졌다. 첫번째講演은 金徳化牧師의 司會로 「하나님앞에 나가는 나(神の御前に出る私)」詩編百篇」였고 두번째講演은 辛鐘國牧師의 司會로 「하나님을 기뻐하는 나

去る二月十二日、大阪KCCにおいて、九十周年記念事業第二回実行委員会が開かれた。今回は昨年十二月の第一回委員会を受け、より具体的に討議、決定した。まず金必順執事の祈りで始まり、委員長・崔正剛牧師の司會によって進行された。最初に記念式典準備委員会より李清一牧師、記念修養會準備委員会より金性濟牧師の報告を受けた。討議の中ではそれぞれの報告から、記念式典は十月十日(土)、大阪・玉造マリ



ア大聖堂で千人規模で舉行されることになった。しかし検討されていた前夜祭は、諸事情、配慮により開催せず、当日の式典にまとめることで決議、プログラム等の内容は準備委員会に一任されることとなった。合同研修會は八月十三日(木)・十五日(土)、富士箱根ランドにて行なわれることとなった。この合同研修會は、全信徒修養會として、教役者、長老のみならず、全ての信徒に参加を呼びかけ、二五〇人規模とし、全協(十二日(水)から)や全

国高校生夏期修養會も合流することになった。予定されている講師は、李昇萬牧師(元米NCC議長)、崔基興監督(富川第一教会名譽牧師)、李清一牧師(總會歴史編纂委員長)で、その他のプログラム等は準備委員会に一任されることとなった。

二・八独立宣言から79年

韓国YMCAで記念式挙る

植民地の弾圧下にあった一九一九年二月八日、当時の留學生たちが三・一獨立運動の原動力になった獨立宣言を日本の首都東京で高らかに謳いあげた。

それから七九年後の一九九八年二月八日、獨立宣言にゆかりの地、在日本韓國YMCA(林光振總務)の九階二・八記念ホールで、「二・八獨立宣言七十九周年記念式」がおこなわれた。参加者は大使館、民間関係



千武鳳YMCA理事長は開會に際し、今の祖国の経済的な状況に対しても、先烈にならぬ、民族一丸となって困難に立ち向かうことを記念辞の中で述べ、韓國留學生連合會の金重錫會長は二・八獨立宣言を力強く読み上げた。(報告 金弘明)

斗(立って、イエス・キリストの光を放とう)と決まった。尚、この標語は記念研修會の主題としても使用される。その他の事業として、在日オリジナル讃美歌の制作、公募、歴代牧師による記念説教集「在日은 聖한 日(在日は聖なる日)」(仮称)出版、宣教九十周年史編纂について提案、報告、承認した。特に九十年史は、百年史をにらんで、個教会史、各地方会史、機關史を中心に編纂される。また関連プログラムとして、教育局が十一月一日(日)・三日(火)、浜名湖にて、全国教会学校教師大会、社会局が七月十九日(日)・二日(火)、大阪KCC(予定)にて人権シンポジウムを、それぞれ行うことが報告された。

在日大韓基督教会 宣教90周年記念事業

標語「일어나 예수 그리스도의 빛을 발하라」「立って、イエスキリストの光を放とう」

■記念集会・事業

○記念式典

日時：1998年10月10日(土)

場所：大阪 玉造マリア大聖堂

○記念合同研修会

日時：1998年8月13日(木)～15日(土)

場所：富士箱根ランド

主題：「立って、イエス キリストの光を放とう」

講師：崔基興牧師(富川第一教会 名譽牧師)

李昇萬牧師(前 米NCC議長)

李清一牧師(大阪KCC総幹事、歴史編纂委員長)

参加費：35,000円(交通費プール制)

主催：在日大韓基督教会總會

全国高校生夏期修養會 合流。全協は12日(火)から開會。

○宣教90年史編纂 個教会史、各地方会史、各機關史

○歴代牧師説教集 出版、在日ソング・讃美歌 公募・制作

■関連プログラム

○教育局主催 全国教会学校教師大会

日時：1998年11月1日(日)～3日(火)

場所：浜名湖

○社会局主催 人権シンポジウム

日時：1998年7月19日(日)～21日(火)

場所：大阪KCC

宣教90周年 記念事業 実行委員会 組織

顧問	金元治 金徳成 金得三 李仁夏 尹宗銀 金光洙 崔永模 朴憲燮
大 会 長	吳在憲 裴基秀
副大 会 長	慶恵重(総会長)
委員 長	金徳化 李建豪(副総会長)
委員 長	崔正剛(伝道局長)
委員 長	金性濟(教育局長)
委員 長	金聖孝(社会局長)
委員 長	金武士(青年局長)
委員 長	鄭然元(關東・会長)
委員 長	金桂昊(中部・会長)
委員 長	朴米雄(關西・会長)
委員 長	李聖雨(西部・会長)
委員 長	崔米信(西南・会長)
委員 長	韓大龍(關西・副会長)
委員 長	玄承禎(西部・副会長)
委員 長	金榮植 金勇聖 金秀男(宣教90周年委員會)
委員 長	徐貞順(女性会)
委員 長	金一惠(全協)
委員 長	金必順(關聖連)
渉 外 部	金君植 表 彰 部 黃義生
礼 拜 部	李大京 歴史編纂部 李清一
記念出版部	盧政一 財政部 金太休
記 録 部	李炳球 金 健
弘 報 部	事務局 姜栄一 李清一 朴太元
事 務 局	姜栄一 李清一 朴太元
委員 長	金榮植
委員 長	李清一
委員 長	李大京 朴米雄 韓大龍 李聖雨 玄承禎 金勇聖 金秀男 徐貞順
委員 長	金一惠 金必順
委員 長	金性濟(教育局長)
委員 長	崔正剛(伝道局長)
委員 長	金聖孝(社会局長)
委員 長	金武士(青年局長)

シリーズ90周年 ①

継承者から 継承させる者へ

在日大韓基督教会の宣教九十周年を迎え、福音新聞も記念特集を企画した。題して「シリーズ 九十周年」第一回は四人の局長による座談会。現在、総会には伝道、教育、社会、青年の四つの局があるが、いずれの局長も昨年の総会にて新しく選任されたフレッシュマンで、初めて四人とも二世、三世というの大きな特色である。この若返りは、世代交代と共に新しい時代の幕開けを予感させる。今回は超多忙中のこの四局長に集まってもらい、女性総会長、二、三世局長という大きな時代のうねりの中で迎える、宣教九十周年の意義について語り合ってもらった。文責、司会は朴太元講師。

一、信仰の継承者として見る宣教九十周年
司会者：「今日はお忙しいところお集まり頂きありがとうございます。まず、皆さんは在日二、三世であると同時に、在日大韓基督教会(以下KCCJ)二世、三世としてクリスチャン二世です。そこで信仰の継承者として宣教九十周年をどう見ると語り合って頂きたいのですが。」

崔正剛牧師(伝道局長)：「私も考えてみれば、在日クリスチャン、それにKCCJの全ての二世だが、あまり大きな一世の存在に、正直言って信仰の継承者という意識はなかった。ただ親や一世の築いてきた教会組織、それにその人数を守らなければならぬ、そう思ってきた。つま

り目に見えるものを受け継ぎ、それに責任を感じていたけど、目に見えない中身、信仰を受け継いでいるとはあまり意識していなかったように思う。じっくり考えてみないとね。」
金聖孝牧師(社会局長)：「私は最後の二世、つまり二世の中では最年少の世代で、一世は私にとって雲の上の存在、ある意味では大きな壁。私も信仰の継承者としての意識はあまりない。ただ、社会局長として見るならば、KCCJにとって社会的に非常に重要な役割を担ってきた。その歴代の局長たちはいづれもユニークで、且つ偉大だった。それをどう引き継ぐかを考える時、自分も継承者なのかと思わせられる。とても大きなプレッシャーと

ではないだろうか。そしてもう一つは、私たちに必要なのは継承ではなく再発見だということ。一世が日本にやって来たことによって、それにそれまでの地域から流れ来者となつたことによって、背景や地域の文化を乗り越えて在日という一つの共同体になった。今われわれの周りにいる在日を見る時、多様性の多くの部分を一世はどのように乗り越えていったのかを一世の物語の中から再発見する、それこそ今与えられている継承というものは何かと思う。」

金聖孝：「青年局にいた時の経験だと、今の三世や四世は一世をものすごく美化して、自分の親、つまり二世の歴史とははつきりと区別している。一世は美しく、二世は苦難の歴史を歩んでいるという、独特の歴史観を持っているように思う。」
金武士牧師(青年局長)：「私は信仰の継承者ではない。私の親もクリスチャンではなく、家族の中で私が最初に信仰を持った。私が何かに引き継いだという自覚はないと言ってもいい。ただ多くの継承者に見られるような押し付けられたような信仰との戦いは経験しなかった。信仰の継承者というものに憧れはあるものの、ある意味では楽に信仰を持てたような気がする。」
司会者：「初めてKCCJを見た時、違和感を感じたでしょうね。」

金武士：「私は信仰の初め、日本の教会だったため、KCCJとの出会いというのが物語化していても、その中今に到る十字架が必ずこの金聖孝牧師だったと思うけど、その霊性の違いに

でしよう。信仰生活にも色々な気持ちが入り混ざって反抗期って必ずあると思う。それが青年会であり青年期だと思ふ。親に反抗するよ

うにとか反抗する。それは日本にも知れない。そのように神に受け皿のようになつてくれるところが教会でなければならぬでしょう。」
崔正剛：「教会生活の中でね。」
金性済：「在日にとってKCCJの役割は大きいね。批判し知れない時期もあるしね。」(笑)

金聖孝：「今の高校生ってすごく柔軟性があると思う。例えば創作ソングなど新しい試みにもすぐに対応できる。その点、青年になるとそのスピードがかなり鈍る。これは守らなければならぬものがあるからだろう。でも、私も私を含めて先輩たちが堅かったことの影響でしようね。金性済牧師、目もものすごく存在したよ。」
金性済：「懺悔の思いでいっぱいだね。」(笑)

崔正剛：「今九十年という大きな流れの中で、われわれは継承者としての役割を持つと同時に、次の世代への中継点としての役割をしているようにうだ。偶然の九十周年ではなく、百周年に向かうための九十周年として意義深い年にしなければね。」
「様々な思いの中にも自然な流れで話題は継承者から継承させる者へと移った。後半はその継承させる者、つまり次の時代への働きについて語り合ってもらった。」
二、今なぜ在日大韓基督教会(KCCJ)なのか。評。



社会局長 金聖孝牧師 熊本教会。局長の中では最年少でただ一人の三十代。大台に乗るまでには独身生活を終えるというが、その残された時間もあわず。数々のものまねは天下一品



くものの、差別というものを理解しているのだろうかと思うことがよくある。」
金性済：「いままで何によつてもいやされなかった渴望がある。独特のフーリヤングを持っているのはきつとそこらから来てるのだからね。」

崔正剛：「一世というのは常にその中にしっかりと希望を見ている。自分たちには見えていたんだね。」
金武士：「しかし今のKCCJは少し頭でっかちになつてきているのではないだろうか。理論と実践のバランスが少しずれている感じがしてしまふのだが。」

金性済：「それは日本の教会全般に言えることだと思ふが。」
金武士：「私はもつと日本の保守的といわれる教団に倣うことも必要だと思う。」
金性済：「私は今なぜKCCJなのかを考えた。今さらなKCCJなのかをね。日本の教会に行けばもつと楽しい、もつと気楽かも知れない。しかし現代においてマイノリティーは将来性はないのか、虚無のまま風化してしまうのか。世界的なこれらの質問にしっかりと答えていくのが教会であり、われわれKCCJではないだろうか。」
金武士：「KCCJの世界への貢献はそのマイノリティー性だと思う。決して誰をも疎外しないということ。しかしその思い故に見えていない同胞の姿もあるという気がする。」
金聖孝：「信仰の多様性は今確かに進んでいる。しかしそれぞれの現実を生きていく中で常にイエスキリストを追いかけ続けている。遠回りに見えていてもしっかりと歩んでいることに意義を見出さなくてはならぬ。一人一人の発言が長いこともあるが、筆者の力量不足でここで全てを一世に頼り、またそのおかげだった。しかしこれから紹介できないのがとても残念。各局ともあまり局の方針を強調しなかったが、それは四月の宣教政策協議会にてじっくりと語ることだろう。四人ともそれぞれ個性が出て大変楽しい時間だったが、時には感情的になりそうな場面もあり、冷やりとさせられた。しかし終わった後はさすがに握手を交して、次へと場所を求めて、その場を後にしていった。」

98年度試取及び各種会議案内

□1998年度宣教師加入牧師・講道師試取

日 時：1998年4月13日(月) 10:00~17:00

場 所：大阪KCC

□宣教90周年事業実行委員会

日 時：1998年4月13日(月) 13:00~15:00

場 所：大阪KCC

□総会任職員会

日 時：1998年4月14日(火) 11:00~17:00

場 所：大阪教会

第3回宣教政策協議会及び 新任牧師・講道師・宣教師オリエンテーション

日 時：1998年4月14日(火) 10:00~16日(木) 12:00

場 所：大阪KCC

プログラム：14日(火) 開 会 礼 拝 (慶恵重 総会長)
現 場 研 修 (案内 金成元KCC幹事)
総 会 史 (李清一 牧師)
各 局 会 委 員 会
15日(水) 伝道局発題 (崔正剛 局長)
教育局発題 (金性済 局長)
社会局発題 (金聖孝 局長)
青年局発題 (金武士 局長)
祈 禱 会 (関西地方会 各教会)
16日(木) 憲 法 (金榮植 委員長)
総 合 討 論 (司会 李清一 牧師)
閉 会 礼 拝 (金徳化 副総会長)

本店 〒105 東京都港区新橋3-18-4
TEL 03(3431)3921, 03(3435)7809
FAX 03(3435)0706
荏原中延店 〒142 東京都品川区中延2-8-13
田畑実業ビル1F
TEL 03(3785)1020

聖経要理問答書とその講解 ⑤2

人として誕生した意味 (5)

尹 宗 銀 牧師 (横浜教会)

ここで強調すべき重要な点は、キリストの処女降誕に関する教理を抜きにして罪人のための救いの福音は

ありえないということが事実である。このような事実は、ウエストミンスター大教理問答の中で見られるように、二つの質問を誘発している。『どうして仲保者は神であらねばならなかったのか?』『仲保者が神であらねばならなかったのは、その神の限りの震怒と死の力の下に落ち込みから支え守るためであり、その苦しみに服従と執り成しの祈りに価値と効果を与え、神の公義を満足させ、神のちよ

う愛を受けて一つの民を血であがなひ、彼らに聖霊を与え、彼らの敵を征服し、永遠の救いに導かねばならなかったからである。』

換言するならば、この偉大な救いの業が―あまりにも偉大なるがゆえに―まさに神のほかにだれも成し遂げることができなかった。しかしまた同時にわたしたちは次のような質問をするのである。『どうして

仲保者は人間でなければならぬのか?』『仲保者が人間でなければならぬのは、彼がわたしたちの本性を向上せしめ、律法に従い、苦しみを受け、わたしたちの本性をもつてわたしたちのために執り成しの祈りをなし、わたしたちの弱さを同情する方であらねばならぬのであり、またわたしたちが養子とされ、慰めを受け、恵みの座に大胆に近づけるようにするからである。換言するならば救いを必要としたものが人間であり、この救い聖業は人間の服従によつてのみ成し遂げられたのだから、当然キリストは真の人間でなければならなかった。そして、『神と人間とを和解せしめる仲保者は、彼自身が神であると同時に人間でなければならぬし、これはまたひとつの人格においてであり、神性と人性がそれぞれの固有な働きをなし、神がわた

たしたのために喜んで受け入れ、完全なる人格者の働きとしてわたしたちの寄り頼むものとならなければならぬからである。』

また換言するならば、わたしがあがめねばならぬ救主はわたしたちにも神にも双方の働きをなすうる救主でなければならぬからである。キリストは永遠に神と人間として区別される本性を所有されるひとり的人格であられるからこのようなことをなすのである。

と告白しているか? 5、マリアはイエスの誕生後も童貞女であったか? 証明せよ。 6、キリストの誕生に関する現代主義者たちのあやまちとは何か? 7、なぜキリストは処女降誕が必要であったか? 8、どうして聖霊がマリアをおたのめであらうか? 9、『実際のからだ』という言葉はどのような意味なのか? キリストが実際のからだをとりもたれたことをどうんな異端が否定したか? 10、『理性のある魂』という言葉は、なんの意味なのか? 初代教会の異端者たちがこのことをどうして否定したか? 11、イエスが実際のからだと理性のある魂をもっておられたことを証明せよ。 12、この教理がわたしたちの救いにとって基本的なものか? そのいくつかの理由をあげてみよ。

●一月十三日 国会決議による「外国人登録法」と取り組む全国キリスト教連絡協議会(関西セミナリーハウスで全国協議会を開催。最終日の十五日には日本基督教団洛陽教会で、第十二回全国集会を開き、李大京牧師がメッセージ。また集会では「外国人住民基本法」の制定を目指していくとの宣言を採択。 ●一月十七日 阪神・淡路

大震災から九三年。いまなお仮設住宅に暮らす人は二万五千世帯にのぼり、その中には相当数の在日同胞がいる。 ●一月二十日 在日同胞作家・金石範氏に第三回毎日芸術賞が贈られる。 ●一月二十四日 在日高齢者のための「トラジの会」が川崎の社会福祉法人・青丘社を母体にして発足。 ●一月三十日 戦時中に飛行場建設に強制連行・強制労働を強いられた在日同胞の集住地域である京都府宇治市のウトロ土地訴訟で、

●一月十七日 阪神・淡路大震災から九三年。いまなお仮設住宅に暮らす人は二万五千世帯にのぼり、その中には相当数の在日同胞がいる。 ●一月二十日 在日同胞作家・金石範氏に第三回毎日芸術賞が贈られる。 ●一月二十四日 在日高齢者のための「トラジの会」が川崎の社会福祉法人・青丘社を母体にして発足。 ●一月三十日 戦時中に飛行場建設に強制連行・強制労働を強いられた在日同胞の集住地域である京都府宇治市のウトロ土地訴訟で、

●一月十七日 阪神・淡路大震災から九三年。いまなお仮設住宅に暮らす人は二万五千世帯にのぼり、その中には相当数の在日同胞がいる。 ●一月二十日 在日同胞作家・金石範氏に第三回毎日芸術賞が贈られる。 ●一月二十四日 在日高齢者のための「トラジの会」が川崎の社会福祉法人・青丘社を母体にして発足。 ●一月三十日 戦時中に飛行場建設に強制連行・強制労働を強いられた在日同胞の集住地域である京都府宇治市のウトロ土地訴訟で、

●一月十七日 阪神・淡路大震災から九三年。いまなお仮設住宅に暮らす人は二万五千世帯にのぼり、その中には相当数の在日同胞がいる。 ●一月二十日 在日同胞作家・金石範氏に第三回毎日芸術賞が贈られる。 ●一月二十四日 在日高齢者のための「トラジの会」が川崎の社会福祉法人・青丘社を母体にして発足。 ●一月三十日 戦時中に飛行場建設に強制連行・強制労働を強いられた在日同胞の集住地域である京都府宇治市のウトロ土地訴訟で、



大阪で青年指導者研修会
全協の主題見解もとに活発に論議

二月十日(十一日)に第二九回青年指導者研修会が大阪KCC会館において開催された。東京日暮里教会の権寧国牧師からのメッセージで開会礼拝がもたれられた。開会礼拝の後「新しい希望を産み出す在日大韓基督教青年」という今年の全協の主題見解が行われた。今年一年の活動方針のもとになる主題見解なので主題について活発な意見の交換がありました。分団の時間の後、晩禱交流会と一日目のプログラムは終わりました。エンターの視点からルツ記を

二月十日(十一日)に第二九回青年指導者研修会が大阪KCC会館において開催された。東京日暮里教会の権寧国牧師からのメッセージで開会礼拝がもたれられた。開会礼拝の後「新しい希望を産み出す在日大韓基督教青年」という今年の全協の主題見解が行われた。今年一年の活動方針のもとになる主題見解なので主題について活発な意見の交換がありました。分団の時間の後、晩禱交流会と一日目のプログラムは終わりました。エンターの視点からルツ記を

在日の新しい賛美歌を募集

●宣教90周年記念大会に向け、在日韓国教会基督者の信仰を告白する、私たちの手による新しい賛美歌を作りましょう。
●募集内容: ①賛美歌の歌詞 ②歌詞と曲が付いている賛美歌
スタイルは自由(四声体、旋律と伴奏、ギターコード付き等)
●切: 1998年6月末日(但し歌詞のみの場合は、後日『福音新聞』に発表し、曲を再募集するため、4月末日までに送付のこと。)
●送り先: 〒169-0051東京都新宿区西早稲田2-3-18-52
在日大韓基督教教会総会 気付 宣教90周年実行委員会
●特典: 90周年実行委員会、賛美歌委員会等で検討した上、90周年前夜祭、もしくは記念式典において「賛美歌」として使用します。

장례 한국食品・書籍・CD・ビデオ (株)韓国広場
新宿店: 東京都新宿区大久保1-17-7
TEL (03) 3232-5400
FAX (03) 3200-2949
代表取締役 金根熙

創業40年 通信・OA・OR機器全般販売・工事 簡易通訳設備
○300MHz使用(FMではない) ○工事不用 ○導入簡単
髙徳通信工業
代表取締役 李建豪 (名古屋南教会 長老)
〒490-11 愛知県海部郡大治町大字砂子字村東2336
電話 (052) 431-3156(代)
FAX (052) 431-3190

創業30年 (1996年) 韓国への引越しは..... コスモス
東京 ☎(03)3501-1487
大阪 ☎(0729)39-6911
福岡 ☎(093)622-3746
代表取締役 金慶得 (東京第一教会 長老)

不動産業務全般 免許番号・愛知県知事③第5426番
太栄企業株式会社
代表取締役 金光洙 (名古屋教会 長老)
事務所 名古屋市熱田区川並町2番21号 (名古屋中央卸売市場入口南側太栄ビル)
電話 052(682)1177(代)
自宅 名古屋市千種区御影町2-55-5
電話 052(711)4398